

# 県職連合第40回・県職労第136回定期大会

## 「結集と連帯」へ みんなで討論・決定・行動



隔月刊=1695号

2026年7月1日 発行

発行日 奇数月1日

発行所

盛岡市内丸10番1号

岩手県庁内

岩手県職員労働組合

印刷所

盛岡市上田二丁目17-4

有限会社 ジョー印刷企画

一部 40円

組合員購読料は組合費を含む



▲2026年度の運動方針を賛成多数で決定

6月13日、県職連合・県職労は定期大会を開催し、組織強化、賃金改善、権利向上、制度・政策要求等の運動方針について、代議員からの補強発言を受けて確立した。人事院及び県人事委員会闘争、人員確保要求書の提出等に向けた当面の闘争方針も決定した。結びに、大会宣言を満場一致で採択し、スローガン「結集と連帯」を確認のうえ、小田嶋委員長長の回結ガンパローで意思統一した。今回の大会も冒頭で自治労組合歌「限りなき躍進」の斉唱を行った。

今年の参院選・冬の解散総選挙、2月の鳥インフルエンザ、4月の大植町での大規模林野火災等、組合員の奮闘に敬意を表する。サッカーワールドカップで前後半3分ずつの給水タイムが義務化された。選手が休憩だけでなく、戦術指示で試合が大きく動くきっかけとなる。私たちの働き

方も同様。仕事に対してずっと走りっぱなし、考えも廻らせばなしで単純ミスや体調不良に陥れば、その影響は、行政サービスの顧客たる住民へと及ぶ。労働者が労働力を発揮するため、適度な休憩は不可欠。しかし、私たちの職場はどうか？職員1人あたりの超過勤務時間は月平均15時間。14日以上長期療養者数は、昨年・一昨年と150人を超え、

うち6割が精神疾患での離脱となっている。民間も含めた岩手県での年休取得日数平均は11日(取得率約60%)で全国38位。切磋琢磨と言えは聞こえは良いが、昨今の人事評価制度は、働く環境を放置した状態での競争であり、我慢とあきらめの上での制度となっているのが実情。労働環境の改善こそが、公務員サービスの充実につながる。政治の場では、高市自民



東北労働金庫岩手県本部 金田一文紀 本部長



岩手県地方公務員共闘会議 村上智加子 副議長

### 来賓あいさつ

14日以上の長期療養者数は、昨年・一昨年と150人を超え、政治の場では、高市自民

自分の都合の良い解釈で、国民のための政策は休息し、戦争が再びできる国づくりへは頭をフル活動させている。休ませるべきものと、動かすべきものが反転している社会をしっかりと修正させていくことも、私たち労働組合の役割。おかしなことをおかしと言えり仲間づくり、組織づくりをしっかりと取り組んでいかなければならない。

私たちの働き方は、国や他県の様子伺いでなく、私たちの現場を踏まえて私たちが決めていく、そんな運動実践を皆さんと進めていけるような方針を、代議員の皆様の発言により豊富化いただくことを願います。

### 来賓あいさつ(要旨)

郵政民営化は政治の失策敗だった。武器輸出に關しても当時の宮沢外相は「そこまで落ちぶれていない」としたが、自民党は反省・総括しない。村山談話に対して批判したのは当時1期目の高市早苗。危険な現政権の暴走を許さず民主的な職場・社会をつくる方針を

確立されたい。自治労県本部・及川委員長 40回を数える県職連合大会は長い歴史と運動の結果であり敬意。今野・花輪の取り組みにも感謝する。5月末段階で新採加入が5割に満たない。声をかけなければ変わらないのは、組織も運動課題も一緒。多くの発言で方針を豊富化してほしい。

くみん共済coop・佐藤本部長 組合員と家族の生活を守るためご奮闘されている皆様に敬意。くみん共済coopとして指定工場の契約をしている。中東情勢でオイル等の入手困難が続くが、引き続き組合員に寄り添った活動を進めたい。



▲決算の説明を行う小澤副委員長

中東情勢もあり、更なる物価高騰が続いているため「中東における早期停戦の実現と燃料高騰への緊急対策を求める意見書」の提出を各会派に求めたが、残念ながら否決となった。

皆様のご支援をいただき議員としての活動も2年目となった。物価高騰対策のための国の補正予算が成立し、盛岡市でも追加で家計応援給付金を準備するよう要請した。

### 笑顔がやぐやぐ街づくりを目指して

野中やすし 政治活動報告 盛岡市議会では人口減少を踏まえた議員定数の見直しが議題に挙がった。私は「市民の声が市政に届きづらくなる」と削減に反対したが、盛岡市の人口が玉山村と合併する前の人口にまで落ち込んでいること

5月1日、さくらホールでツガワで開催された第97回花巻北上和賀地区メーデーには、県職労北上支部から5人が参加した。「人足りなすぎて減！」と書かれたプラカードを掲げながら、定時に帰りにくい職場実態を訴えたところ、深刻な人員不足の実態が伝わり、コンクールでは優秀賞をいただく。

労働組合のための金融機関。現在、奨学金ローン(ミライノワ)や政策金利上昇を踏まえた、2.2%の金利商品を提供する。安心して生活できるための一助として活用いただきたい。

人足りなすぎて減! 適正な人員配置を訴え 自分のために使える職場・社会にしていきたい。 息、8時間は休

今、国政をどう考えていくかも地方議会の課題となっている。政治はずっと続いていくものであり、地方議会の場から声を届けていくのが私の役目であると考えているので、来年の盛岡市議会議員選挙に向け、皆様のお力をいただきたい。結びに、皆様の「限りなき躍進」を心より祈念する。

野中靖志 県職労組織内議員 (盛岡市議会議員)

### 野中やすし 政治活動報告

野中靖志 県職労組織内議員 (盛岡市議会議員)

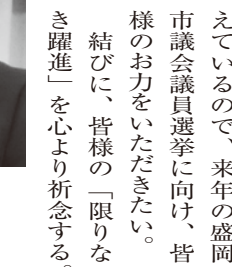
昨年、退職者会の50周年式典を実施した。昨年末は「定年」がない年だが30人程加入いただいた。働き方もだいぶ変わっており厳しい中努力されていると思うが退職後も運動継続できるようお祈りする。

この号が発行されている頃には、期末・勤勉手当の支給日を迎えていることだろう▼支給前から期末・勤勉手当を元手に旅行を計画する

人、欲しい物の購入を計画する人、DeCoやNISAを計画する人など、様々な使い道を計画している人も多いはず▼一方で、今年度の新採用職員は手当の少なさにガッカリしている人も多く、かもしれない▼手当が少なく感じる理由は、基準日までの期間に応じた率が考慮されるからだ。6月支給期の期末・勤勉手当は6月1日が基準日であり、その基準日から遡って6箇月以内の期間を適用して算定する。そのため、例えば4月1日採用の場合は期間率が100分の30とされていることから、支給額が少なくなるものである▼12月支給期の期末・勤勉手当は12月1日が基準日であり、6月の倍以上の額が支給されることとなるので、今年度の新採用職員は12月期の期末・勤勉手当に思いを馳せながら、そして、手当が支給された時の計画を早め立てながら業務に励んでほしい。



県職労組織内議員 野中靖志 (盛岡市議会議員)



### 減!

▲第97回花巻北上和賀地区メーデーの様子

▲第97回花巻北上和賀地区メーデーの様子

▲第97回花巻北上和賀地区メーデーの様子

▲第97回花巻北上和賀地区メーデーの様子

# 方針に対する主な質疑・答弁

## 《盛岡支部・菅原代議員》

・担当書記の人事異動により書記長が対応することとなり、不便を感じているため、本部にはしっかりと対応をお願いしたい。

(答弁)

・総合共済会計のうち役員給が予算額から倍増した理由を教えてください。

(答弁)

・当該予算が倍増したのは、給与改定と総合共済業務の従事時間按分によるもの。

《釜石支部・須藤代議員》

・書記の人事異動によりご迷惑をおかけし、大変申し訳ない。本部の対応を見直しつつ交渉を円滑に進め、現業評議会の労働条件改善に尽力していくので、今後ご協力をお願いしたい。

## 《胆江支部・佐藤代議員》

・減らすのは矛盾を感じる。

・新採用職員の反応について

《気仙支部・大槻代議員》

・共有するところがあるが、県職労ではどのような共有の方法を考えているのか。

《一関支部・佐藤代議員》

・2026年度県税センター開設に伴い税務課職員の集約が行われた。出先では電話も取れないほど多忙な状況である。税務協活動に対し本部の助力をお願いしたい。

(答弁)

・集約により生じた課題については、当局へ伝達の上で改善を求めていくと共に、税務協の活動について、可能な限り力添えをしていく。

## 《胆江支部・小原代議員》

・各支部の支部長合同での管財課交渉を予定している。

・業務効率化の観点から、赤枠配布等の県職労運動見直しをすべきと考える。

(答弁)

・オーパーエイジ連絡会については昨年7月4日に設立したこと及びその活動方針について記載をお願いしたい。

## 《奥支部・高橋代議員》

・再任用職員の給与は定年前と比べ60%に抑えられ、一時金も2.45月と低廉である。定年延長により退職手当の支給率引下げも予想されるため、是非阻止してほしい。

・久慈でも公舎の住環境問題があり、自分が住む小久慈公舎も空きが多い状況。支部独自交渉を継続して行く、改善を求めていく。

(答弁)

・役員のみ手不足は深刻であり、特に、負担の大きさも要因であることから、負担軽減のための対策を検討していく。

# 発言代議員



盛岡・菅原代議員



胆江・佐藤代議員



釜石・須藤代議員



気仙・大槻代議員



一関・佐藤代議員



胆江・小原代議員



奥支部・高橋代議員



胆江・本間代議員



久慈・大崎代議員



胆江・菅原代議員

## 職場生産点からの運動を組合員全員で実践しよう

### 委員長総括答弁(要旨)

県職連合大会が40回目、20年の歴史。工業技術センター労組が発足した06年

は、前年に社会保険職員が県職労から自治労直轄になり組合員が大幅減、県南局再編がスタート、給与制度の総合的見直しにより査定昇給の勧告、とターニングポイントとなる年

長い歴史を経て本大会となった。3月の奥州市議選



▲総括答弁をする小田嶋委員長

「今野よしふみ」への結果に感謝。一定の組織票は成果の一つだが、交渉等で決まらざる職場課題だけでなく、組織の外に見いださなければならぬ政策的課題を、日頃から意識することが私たちの運動として

は弱いところ。政治学習会等を通じて取り組みを強化していきたい。

財政と組織について、限られた予算の中の効率的な運動が必須だが、実際は丁寧な実践が求められる。組合員の減少による組合財政課題に直面しており、全国的にも組合費の引上げが検討されているところ。本県職労では、組織財政強化委員会の答申を踏まえて、機関紙発行減や執行委員の行動旅費凍結等を先行実施。その中で、書記局体制のブロック化も具体的検討

を進めるべきと議論いただいているもの。多くの発言をいただいたが、組織強化の視点で検討を進めていく。新自由主義的感覚が広がり、個々の要求も個別化してきているが、組合は「支え合い」の組織。お互いを理解し合いながら、弱い部分を力合せて進めていく。一人ひとりが声を挙げる

こと、運動の成果や経過を職場段階から共有していく

針を検討している。学習会の開催方法については、効率的かつ経済的な方法を模索し、負担軽減につなげていく。

・業務効率化のための見直しについて詰り切れていないため、今後DX化も含めた検討を行っていく。

《奥支部・菅原代議員》  
・県職労運動についてDX化を図っていく必要がある

《奥支部・菅原代議員》  
・県職労は4月1日付で盛岡支部に阿部英子臨時書記を、6月23日付で奥支部に菊池ふたみ臨時書記を採用配置しましたのでご紹介いたします。

《奥支部・菅原代議員》  
・組合員が主役の組合活動を支援してまいりますので、これからも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

《奥支部・菅原代議員》  
・臨時書記の採用配置

《奥支部・菅原代議員》  
・臨時書記の採用配置

《奥支部・菅原代議員》  
・臨時書記の採用配置

《奥支部・菅原代議員》  
・臨時書記の採用配置

《奥支部・菅原代議員》  
・臨時書記の採用配置

《奥支部・菅原代議員》  
・臨時書記の採用配置



◆阿部 英子 臨時書記 (盛岡支部)



◆菊池ふたみ 臨時書記 (奥支部)

# 平和の火を走りつなぎ 反核と恒久平和を訴える

## 「核兵器禁止条約」署名 国への働きかけを知事に要請

6月5日から7日にかけて、第37回反核・平和の火リレーが開催され、「語り継ごう、走り続けよう ヒロシマ、ナガサキの心を」をスローガンに掲げ、約180キロメートルを延べ140人のランナーで広島平和記念公園から採火した「平和の火」を二戸市から一関市まで走り継いだ。

二戸市（堀野近隣公園）をスタートしたランナーは沿道から「がんばれー」と声援を受けながら平和の火をつなぎ、ゴールの一関市（一ノ関駅）まで無事に走り継ぎ、ランナーと共に街宣車からアナウンスで「核のない、二度と戦争が起らない、平和な社会の実現」や「核廃絶」などを地



▲北上市部佐々木勝さん(左)、山口玲智さん(中央奥)、塚澤龍太郎さん親子(中央手前・右)



▲県庁支部石井望夢さん

域の方々に訴えた。ランナーからは、「普段は目の前の仕事をこなすのに精一杯だが、リレーという形で平和について考えるきっかけになった」「核がなく安全な世界になれるようにしたい」と力強い感想があった。

リレー後の19日には、日本青年学生平和友好祭岩手県実行委員会の吉成実行委員長（岩教組青年部長）と参加した実行委員、小西和子県議の4人で達増拓也県知事を訪問し、要請行動を行った。吉成実行委員長は、「非核・平和自治体宣言」を活かし、平和行政の推進につとめること、いかなる場合も住民の生命と基本的人権を優先する政策を実現すること、等の5つの取り組みについて知事に要請し

た。また、実際に広島に行き、「平和の灯」を採火した実行委員の石井事務局長（県職労青年婦人部長）も平和活動の重要性について訴えた。知事は、「最近の情勢も含み、平和の火リレーの取り組みは重要であり、県としても一緒にこれから



▲盛岡支部金野成海さん(左)、県庁支部佐々木忍さん(右)



▲胆江支部芦荻翔太さん(左)、千葉敬士さん(右)

今年には戦後81年となる。戦争が無かったことにはできない。唯一の被爆国であるからこそ「核と人類は共存できない」、「二度と戦争をしない・させない」とを強く訴えていく必要がある。



▲達増知事に要請書を手渡す吉成実行委員長(岩教組) (右)

5月9日に宮城自治労会館で「臨時・非常勤等職員全国協議会東北地連交流学習会」が開催され、岩手県職労から3名が参加した。本部提起やグループワー



▲県庁支部いちご狩り交流会のようす

4月26日に県庁支部でいちご狩り交流会を開催した。組合員や家族が集う楽しいひとときとなり、70人を超える参加があった。

実が大きく甘みが強い「すず」という品種のいち

ごがあり、ハウス内で「甘い、おいしい」などの声が上がった。30分の間に100個以上食べた人もいたほか、いちごの周りには受粉用のミツバチが飛んでいて、苦手な人もいたようだが、刺されることなく無事に終了した。

声をおげることの大切さを知る  
東北地連交流学習会

クを通して、会計年度任用職員制度や組合活動の進め方などについて、学習した。参加者からは、「職場によって処遇格差が様々あることを知り、みんなの意見を



▲東北地連交流学習会のようす

参加者からは、「組合行事で家族も参加できる行事は少ないので、家族も参加できるイベントは本当に楽しかった」と感想があった。

「若年層向け賃金・休暇制度学習会」を開催した。藤村副委員長を講師として招き、新採用採用3年程度の職員向けとして前半部分では、「給与・休暇制度」について、10年前の初任給と現在の初任給及び年収の比較を行いながら、昇給モデルケースを示して学習を行った。



▲東北地連交流学習会のようす



▲盛岡支部での若年層向け賃金学習会のようす

後半部分では、各テーパー単位で日頃から疑問（人事評価制度・休暇制度等）に感じている点を踏まえながらフリートークで盛り上

質疑では、会計年度任用職員のボランティア休暇についての質問が出るなど充実した取り組みとなった。盛岡支部では、継続的に学習会等を開催し、課題の認識・共有を図りながら、よりよい職場環境となるように、改善につなげる意識づくりにも取り組んでいきたい。

### 新採用ニュース を活用しよう!

青年婦人部では新採用職員向けに「新採用ニュース」を定期発行しており、労働組合の取り組みや給与明細の見方、昇給・昇格の仕組みなどを掲載しています。新採用職員への声かけツールの1つとして作成していますが、ちょっとした学習会資料としても活用できますのでご活用ください。

### 仲間と一緒にスポーツ交流!

6月19日に北上市の江釣子球場で全日本自治体職員等スポーツ大会岩手県大会(野球部門)が開催され、岩手県職労から3人の青年が参加し、国保連労組の仲間と合同でチームを結成した。

1回戦の相手は二戸市職労で、熱い激闘が繰り広げられた。結果は5対15で惜しくも敗北してしましたが、チャンスでのヒットや、随所に好プレーが出た締まった試合となった。

今後は、単独でも出場ができるような声掛けをしていき、他の交流会等にも積極的に参加し、県職労運動を広げていきたい。

▲県職労からの参加者

### 職場では教えてくれない? 給与・休暇制度学習会

5月22日に盛岡支部で「若年層向け賃金・休暇制度学習会」を開催した。藤村副委員長を講師として招き、新採用採用3年程度の職員向けとして前半部分では、「給与・休暇制度」について、10年前の初任給と現在の初任給及び年収の比較を行いながら、昇給モデルケースを示して学習を行った。

### 県職労総合共済 無料法律相談事業のお知らせ

県職労総合共済では、組合員と家族の生活支援及び不安解消のため、顧問弁護士による無料法律相談事業を実施し、**1事案につき初回に限り、無料で法律相談を受けられる仕組みを設けています。**

相談の流れ

- ①「法律相談を受けたい」旨、県職労本部へご連絡ください。(相談案件を確認するもので、詳細内容をお話いただく必要はありません)
- ②県職労本部から弁護士へ相談の連絡をします。
- ③相談者から直接弁護士へ相談いただきます。

※無料となるのは初回相談のみです。継続的な相談や具体的な対応に関する費用は、相談者の負担となります。

山中法律事務所  
山中 俊介 弁護士

# 宮古・胆江・花巻・釜石・久慈・北上・気仙・一関支部が26体制確立

県職労8支部は今年度の支部役員選挙結果を公示した。立候補者全員が信任され、新体制を確立した。

役員・氏名は次のとおり。  
〔宮古支部〕(5月21日公示)

支部長 佐藤 健(宮古保福)



佐藤 宮古支部長

副支部長

長崎 玲治(岩泉土木)  
小田島 淳(宮古土木)

書記長

宮 孝輔(宮古農林・林務)

書記次長

須藤 慎吾(宮古農林)

執行委員

飛澤 尚弥(県税・宮古駐在)

山本 研(宮古普及)

村井凜太郎(宮古農林・林務)

大村 敏昭(宮古水産)  
会計監事

中村 健二(宮古土木)  
佐藤 文範(宮古水産)

〔胆江支部〕(5月22日公示)  
支部長 本間 義章(産技短水沢校)



本間 胆江支部長

副支部長

山田 一晴(県南土木)  
小成 晴紀(県南林務)

書記長

小原 大(県南農政・農林整備)

書記次長

菊池 真也(県南保福)

執行委員

工藤 佳徳(県南農政)

佐藤 徹郎(県南農政・農林整備)

朝倉 陽(県南総務)

藤原 敏(奥州普及)

長門三喜男(産技短水沢校)

鈴木 正之(県南土木)

中田 正継(県南県税)

会計監事

木村 裕子(県南家保)

兼平 俊亮(県南経営企画)

〔花巻支部〕(6月3日公示)

支部長 伊藤美智代(花巻保福)



伊藤 花巻支部長

副支部長

藤原 道理(花巻土木)

書記長

鷹羽 誠(花巻農林)

書記次長

小原明日香(花巻審査)

執行委員

菊池 真弓(花巻保福)

酒井 新吾(花巻土木)

伊藤 弘(花巻農林)

須賀美奈子(花巻保福)

阿部 安則(花巻土木)

〔釜石支部〕(6月4日公示)

支部長 須藤 開(沿岸水産)



須藤 釜石支部長

副支部長

清水 勇一(水産技術セ)

書記長

菅原 那津(沿岸農林)

書記次長

藤原 彰(沿岸経営企画)

執行委員

和田 佳子(沿岸保福)

鈴木小百合(沿岸保福)

小野寺光文(沿岸水産)

藤村 由羽(水産技術セ)

荒木 貴郎(漁業取締)

会計監事

須藤 慎(沿岸土木)

中村 優希(沿岸経営企画)

〔久慈支部〕(6月10日公示)

支部長 大崎 勝弘(県北林務)



大崎 久慈支部長

副支部長

深澤 明子(久慈普及)

書記長

一井 薫(県北保福)

書記次長

中崎 博富(県北土木)

執行委員

菊池 和也(県北経営企画)

高橋 憲明(県北水産)

琵琶坂育雄(県北農政・農林整備)

書記次長

藤原 彰(沿岸経営企画)

執行委員

和田 佳子(沿岸保福)

鈴木小百合(沿岸保福)

小野寺光文(沿岸水産)

藤村 由羽(水産技術セ)

荒木 貴郎(漁業取締)

会計監事

〔北上支部〕(6月10日公示)

支部長 多田 和幸(農業大学校)



多田 北上支部長

副支部長

東城 直貴(北上土木)

書記長

佐々木久彦(農業研究セ)

書記次長

白井 智彦(農普・農研駐在)

執行委員

高橋 司(農業大学校)

本田 純悦(西和普及サ)

小野 直毅(農業研究セ)

佐々木俊洋(農業研究セ)

熊谷 拓哉(農業研究セ)

小野寺 徹(北上農村整備)

〔気仙支部〕(6月23日公示)

支部長 小山 敏郎(大船渡土木)



小山 気仙支部長

副支部長

大槻 康幸(大船渡地域)

書記長

石川 輪子(大船渡普及)

書記次長

横澤 和志(大船渡農林)

執行委員

秋山 潤(大船渡保福)

小笠原 努(大船渡保福)

高間館大斗(大船渡農林)

千田 聡実(大船渡普及)

佐藤 夕(大船渡土木)

遠藤 裕樹(大船渡水産)

〔一関支部〕(6月26日公示)

支部長 三浦賢一郎(一関農林)



三浦 一関支部長

副支部長

大友 英嗣(一関普及)

阿部 洋(一関土木)

書記長

豊間根正明(一関保福)

書記次長

小野寺恒子(一関審査)

執行委員

小岩 敬洋(千厩土木)

菊地 高志(千厩専門校)

齊藤慎太郎(一関農村整備)

村上 昭樹(一関農村整備)

鈴木 努(一関児相)

菅原 裕嗣(一関土木)

会計監事

齊藤慎太郎(一関農村整備)

いけいけ! めんちゃん

6月30日

今日はボーナス! いつも節約してるからたまには贅沢したいと自分がかわいそうだよ...

ハキハキ!

うん。絶対かわいそう。

めんちゃんフィーバータイム!(続報)

めんちゃんさん 50個のワザ? ありがとう!

じゃー 全身+V10 5回コースで。

え?

あれ、当選したライブのチケットが決済エラー!? ん、なんかメール来て...

ええ?

不審な利用を検知したため、一時停止しました。

わわわ、請求額?

請求額 234,780円 明細はこちら

おかし! やつぱり不正利用されてる! 不明明細確認!

次のボーナスは 12月10日だよ!

働きやすい職場環境を話し合う

2026 県本部女性集会

6月6日に盛岡市で「2026県本部女性集会」が開催され、岩手県職労から1名が参加した。

参加者からは、「今まで自分が我慢すれば済むと思って行動することが多かったのですが、講演での「我慢は自分への虐待」という言葉が印象的だった。これからは自分の考えも大事にしていきたい」と感想があった。

訂正 5月1日付「新役員・専従役員の紹介」の記事で、佐々木書記次長の写真横に「専従」とあるのは「非専従」の誤りでした。

お知らせ

2026年度闘争資金(2026年2月の第135回臨時大会で決定)【6月・2500円、12月3000円】のうち、2500円を6月の月例給から引き去りさせていただきますので、ご理解をお願いいたします。

2026年度新規加入者、再任用職員、60歳に達した次年度以降の職員及び会計年度任用職員の組合員は、免除します。

特別金利定期預金

2026年6月18日(木)~2026年8月31日(月)まで

期間限定! 特別金利でお預入れいただけます!

当金庫に給与振込・年金振込をご指定いただいている方

当金庫に給与振込・年金振込をご指定いただいていない方

お預入れ期間 3年

年2.20% (税引後 年1.753%)

お預入れ金額 100万円以上1,000万円以内

例え 500万円を3年間(半年複利)お預入れした場合、270,550円(税引後)の利息を受取りいただけます!!

例え 500万円を3年間(半年複利)お預入れした場合、245,339円(税引後)の利息を受取りいただけます!!

※上記金利を初回満期日まで適用いたします。※お利息は復興特別所得税を加算した20.315%(国税15.315%、地方税5%)の税率で課税されます。※税引後利率は小数点第4位以下を切り捨てた利率となります。※上記の受取利息は概算金額です。実際の受取利息とは異なる場合があります。※店頭にて説明書をご用意しております。商品の詳細はお近くの東北ろうきん窓口または右上の二次元コードよりご確認ください。※特別金利の適用は初回満期時までとなります。満期後は、店頭表示金利を適用します。※特別金利定期預金は普通預金口座(総合口座含む)をお持ちいただいている方(または同時開設いただく方)が対象となります。

2026年6月8日現在